

(別紙)

戦略的スマート農業技術等の開発・改良／輸出拡大のための新技術開発
「省力除草、安定生産の水田有機栽培体系の実証と支援アプリケーション開発」
(SA2-106R) 成果報告会
開催要領

- ・開催日時：2025年2月26日（水）13:00～17:00（開場 12:30）
- ・開催場所：レソラホール
福岡市中央区天神2丁目5-55 5階
- ・定員：会場 150名、オンライン 500名
- ・主催：農研機構九州沖縄農業研究センター
戦略的スマ農プロジェクト SA2-106R「水田有機農業」コンソーシアム

・プログラム
(1) 挨拶

農研機構九州沖縄農業研究センター 所長 澁谷美紀

(2) 本プロジェクトの概要

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ
グループ長 国立卓生

(3) 有機米・有機大豆の輸出に関する需給動向

日本産有機米・有機大豆の海外における需給と輸出拡大に向けた条件
－米国西海岸とシンガポールにおける味噌（有機 JAS）を事例に－

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ
グループ長補佐 笹原和哉

(4) 栽培技術

1) 両正条植え水稻ほ場における高能率除草技術

農研機構農業機械研究部門無人化農作業研究領域革新的作業機構開発グループ
上級研究員 重松健太

2) 有効積算気温に基づく機械除草時期の提示

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ
上級研究員 川名義明

3) 有機水稻栽培における有機質資材肥効見える化アプリを用いた施肥量の適正化

農研機構九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域飼料生産グループ
グループ長補佐 古賀伸久

4) 排水性向上や土づくりのための緑肥栽培技術

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ
主任研究員 内田智子

(5) 病虫害防除技術

暑さや病虫害に強く多収な水稻品種「秋はるか」

農研機構九州沖縄農業研究センター暖地水田輪作研究領域作物育種グループ
グループ長 黒木 慎

(6) 現地実証試験

1) 寒冷地における手取り除草時間削減と収量確保の水稲有機栽培体系

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ

上級研究員 川名義明

2) 西南暖地の水稲における両正条移植と病害虫抵抗性品種を組み合わせた有機栽培技術

佐賀県農業試験研究センター環境農業部

部長 井手洋一

3) 水稲－大豆輪作体系における緑肥栽培技術と高精度播種機を活用した大豆有機栽培技術の実証

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ

上級研究員 戸上和樹

4) 水稲有機栽培および大豆有機栽培における新技術導入の経済性評価

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域水田輪作グループ

研究員 狗巻孝宏

(7) 質疑

(8) 閉会

7. 参集範囲

農林水産省等の国の機関関係者、生産者、独立行政法人・国立研究開発法人関係者、地方公共団体等の試験研究機関関係者及び行政担当者、コンソーシアム構成員、企業の方、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、一般の方

8. 申込方法・問い合わせ

- ・下記サイトに必要事項をご入力の上、「2月12日（水）17時」までにお申し込みください。

申し込みサイト：<https://forms.office.com/r/YNOMRfawhS>



- ・オンライン参加される方には、当日の接続用アドレスを登録いただいたメールアドレスに送信します。
- ・会場で参加される方は、開場時間（12:30）以降にお越しください。

(問い合わせ先)

- ・成果報告会に関して

農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域長 大段秀記

電話：0942-52-3101（代表） E-mail yuuki_seika_2025@ml.affrc.go.jp

- ・プロジェクトの内容に関して

農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域 水田輪作グループ長 国立卓生

電話：0187-66-2776 FAX：0187-66-2639

E-mail suidenyuuki-seikahoukokukai@ml.affrc.go.jp